

【まちづくりのキャッチフレーズ】

地域・世代を越えた共創とまちづくり

【アクションプラン～地域で取り組みたいこと～】

◆なにを？

◆どのような？

◆だれが？

◆いつ？(矢印を記入)

◆さらに？



防災 **も** まちづくりマップ グループ①

キャッチフレーズ

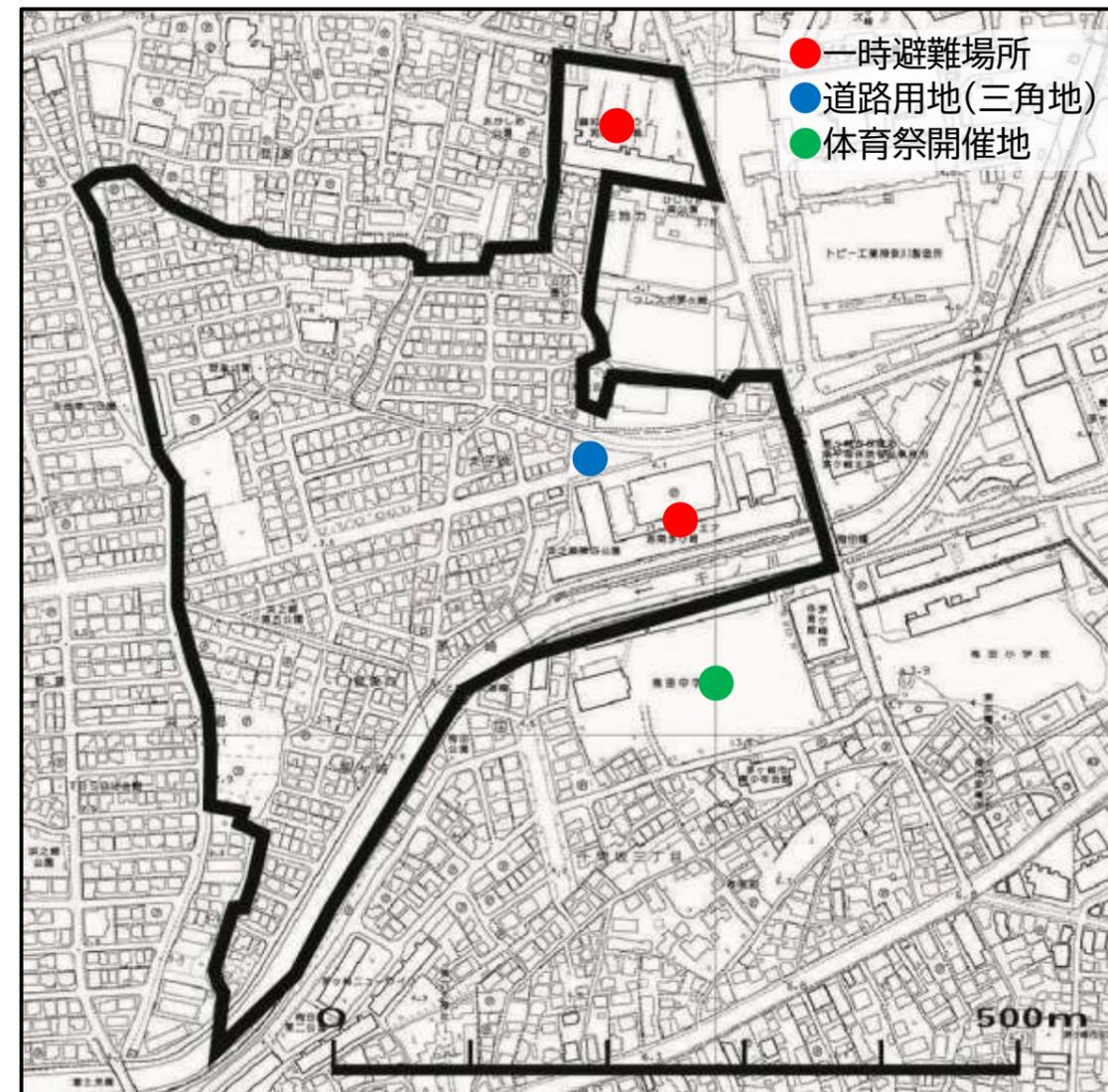
世代・地域を越えた共創とまちづくり

◆グループワークのまとめ

魅力・資源 まちの	<ul style="list-style-type: none"> ●全世帯参加の公園美化活動を実施しており、公園がきれいに保たれている →地域内で協力体制ができていることがまちの魅力
まちづくりの課題	<ul style="list-style-type: none"> ●まちづくり活動に活用できる空き地が少ない ●高齢化により、活動の担い手が不足している
防災活動の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●自治会同士が連携した地域ぐるみの防災活動ができていない ●千ノ川が近く、浸水のリスクが高い

◆アクションプラン

	取り組み内容	時期
自治会	●自治会合同のイベントや体育祭	短
	●一時避難場所(パークスクエア湘南茅ヶ崎)の合同見学会	短
	●道路用地(三角地)の活用について協議(地域・市関連部署)	中・長
	●未来の担い手として、若い世代への参加を働きかける	短・中

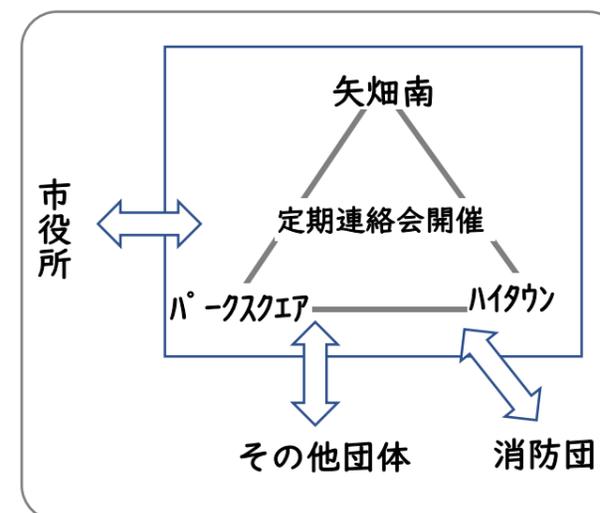


●R5実施“予定”プログラム

●一時避難場所の合同見学会

- 【手順】
- ①6月頃に藤和茅ヶ崎ハイタウンに声掛けし、矢畑、パークスクエア湘南茅ヶ崎の三自治会で協議する
 - ②日程、規模を決定する
 - ③案内(回覧)
 - ④実施(9~10月は他のイベントと調整する必要あり)

●まちづくりの体制



まつりがつなぐ人づくり

【アクションプラン～地域で取り組みたいこと～】

◆なにを？

◆どのような？

◆だれが？

◆いつ？(矢印を記入)

◆さらに？

まちづくりの取組み内容	まちづくり上の効果	例)自治会/その他団体 まちぢから協議会...	短期 R5から	中期 2~3年後	長期 5年後	防災上の効果
<p>○地域のまつり ・例大祭、納涼祭、十間坂秋祭り等 →市が主催ではない</p> <p>【課題】 ・コロナ禍で活動ができなかった3年間の ブランクは大きく、既に既存組織の弱体化がすすんでいる</p>	<p>○祭りを軸に、地域で様々な団体による活動が動き始める</p> <p>・小学生を中心とした太鼓練習が始まる →練習する子どもたちへの差し入れを”婦人会”が行う</p>	<p>○まちぢから協議会 ・地域の音頭取り ・個々の団体が動きやすくなるように役割分担</p> <p>○マンション自治会 ・マンション居住者の参加を促す</p>	<p>祭りの再開 (R5~)</p> <p>・市主催のまつりが再開されてから開催決定する</p>			<p>○コミュニティづくりは災害時に役立つ</p> <p>○担い手育成に寄与する</p> <p>○自治会内の引継ぎがスムーズになる(活動が進んでいると引き継ぎが行える)</p>
<p>○マンション自治会も地域のイベントに参加</p> <p>【課題】 10自治会あるマンション単独自治会も、高齢化で個別イベントを実施できていない自治会もある。)</p>	<p>○多様な人が参加しやすい</p> <p>・マンション居住者も“参加者”や“運営支援者”として参加しやすい</p> <p>・人と人がつながり、顔のみえる地域コミュニティが形成できる</p>	<p>○まちぢから協議会</p> <p>【課題】 ・各団体の活動は、個々の自主性を尊重することが重要だが、各自で活動費の寄付集めを行うのは負担が大きい</p> <p>→それぞれ得意な分野や団体の主となるテーマの取組みに注力して、効率的な運営をする</p> <p>例)体育祭の場合 ・体育振興会は当日の企画や進行に集中して、寄付集めまちぢから協議会が担う</p>				
<p>○中学生をまきこむ</p>			<p>テント設営訓練 (R5~)</p> <p>・梅田中学校では、今年の夏から地区が保管するテント設営の練習をする</p>			<p>○災害時に活かせる(高齢化が進む自治会よりも役立つ)</p>

防災 **も** まちづくりマップ グループ②

キャッチフレーズ

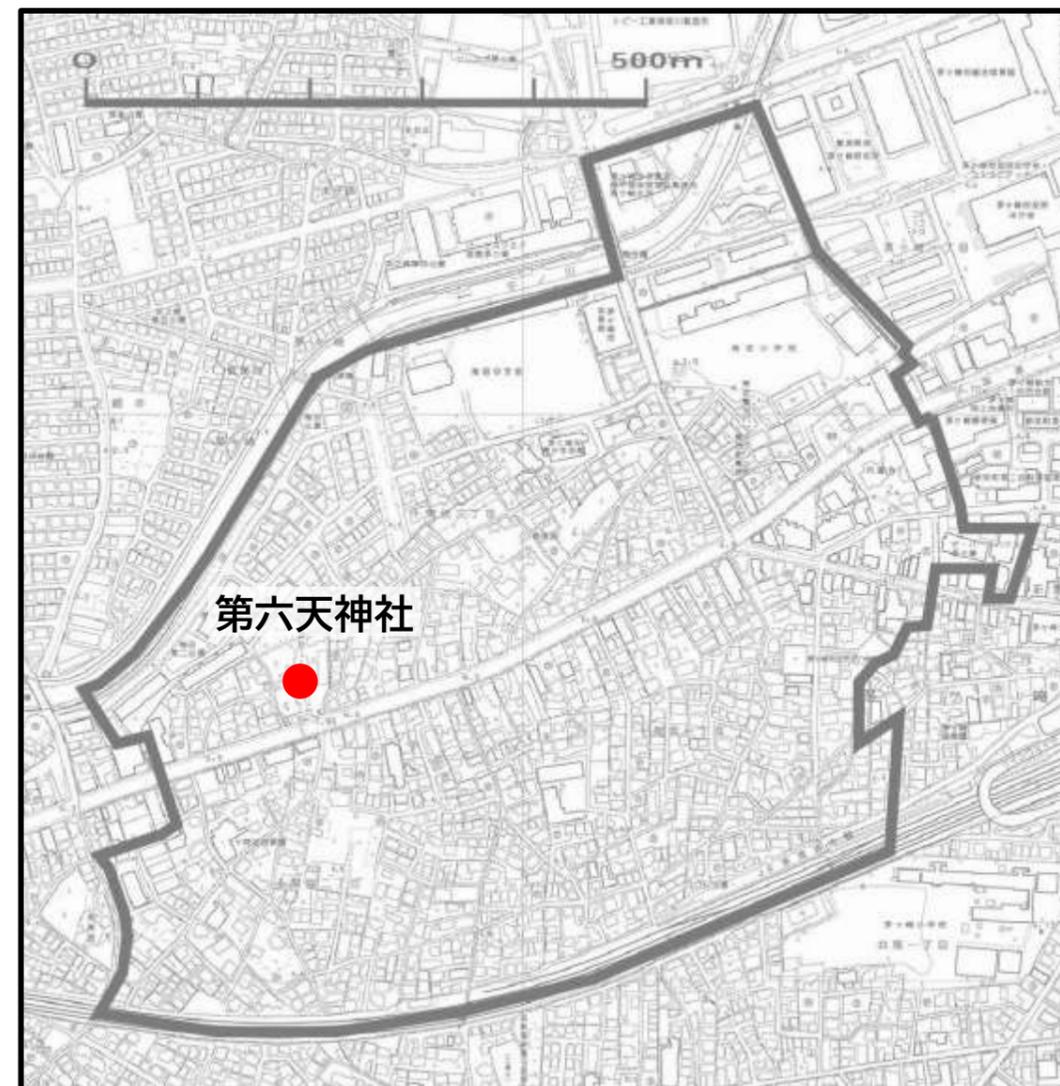
まつりがつなぐ人づくり

◆グループワークのまとめ

魅力・資源 まちの	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の歴史を感じるまつりがある ●地域住人のつながりが強いことがまちの魅力
まちづくりの課題	<ul style="list-style-type: none"> ●茅ヶ崎地区はマンション単独自治会が10自治会あり、新たに地区に住み始めたマンション住人とのつながりが薄くなりつつある
防災活動の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●災害時は、地域間の連携が必要だが、現状で連携した活動ができていない

◆アクションプラン

	取り組み内容	時期
自治会	<p>【マンション自治会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域のイベント等に参加していくためのきっかけづくり <p>※地域イベントへの寄付協力、選挙の立会など、「面倒」や「なぜ?」と思ってきたことも、実際に取り組むことで地域が見え、つながりやすくなる。</p>	短～中期
まち協議会	<ul style="list-style-type: none"> ●まつりを再開させるきっかけづくり・音頭取り 	短期 (希望)



●R5実施プログラム

- まつりを再開させる
 - ①まち協議会が音頭を取り、地域の方向性を合わせる。
 - ②個々の団体が動きやすくなるよう役割分担する

※コロナ禍におけるまつりの再開は、市の方針等を確認する必要がある

●まちづくりの体制

- まち協議会からの期待
 - ・まち協議会が、茅ヶ崎地区における「地域のまちづくりの方向性」を打ち出すことを期待する
 - ・まち協議会が打ち出した方向性に向けて、これまで以上に地域が活発化し、魅力が向上する!

ワクワクつながるまちづくり

【アクションプラン～地域で取り組みたいこと～】

◆なにを？

◆どのような？

◆だれが？

◆いつ？(矢印を記入)

◆さらに？

まちづくりの取組み内容

- 新しく始める地域のお祭り
- 飲みニケーション

- 情報共有
 - ・回覧, 掲示板ではなく、情報を迅速に伝えるためのツールと SNS(LINE)を活用
- 平常時の安否確認
 - ・三軒両隣での安否確認(単位を小さくすることで防災訓練も15分で完了)

- 防災教育
 - ・次の世代にどうつなげるか
 - 防災サポーター登録
 - ・防災会議の役員が毎年変わるのの良いこと
 - ・防災リーダーの元、比較的気軽に参加できる防災サポーターの登録
- 【課題】
- ・災害時にすぐ対応できる人材が少ない

まちづくり上の効果

- コミュニティづくり
- 地域イベントへの参加意欲向上(顔見知りが増える)
- ワクワク感
- 話す場ができ、話を共有することができる
 - ・普通の人には教えてもらいにきていないわけではない

- 現状把握に繋がる
 - ・茅ヶ崎地区は集合住宅や人口が多いため、現状把握が重要
 - ・要援護者がどこに住んでいて、災害時に助けに行けるか

- いざという時に動けるように！
- マンションを防災資源に！
 - ・マンションは復旧に時間がかかるためマンションをまちの防災資源として、戸建て住宅とあわせて強み・弱みをそれぞれ補い合う

例)自治会/その他団体
まちちから協議会...

短期 R5 から	中期 2~3年後	長期 5 年後

防災上の効果

防災 **も** まちづくりマップ グループ③

キャッチフレーズ

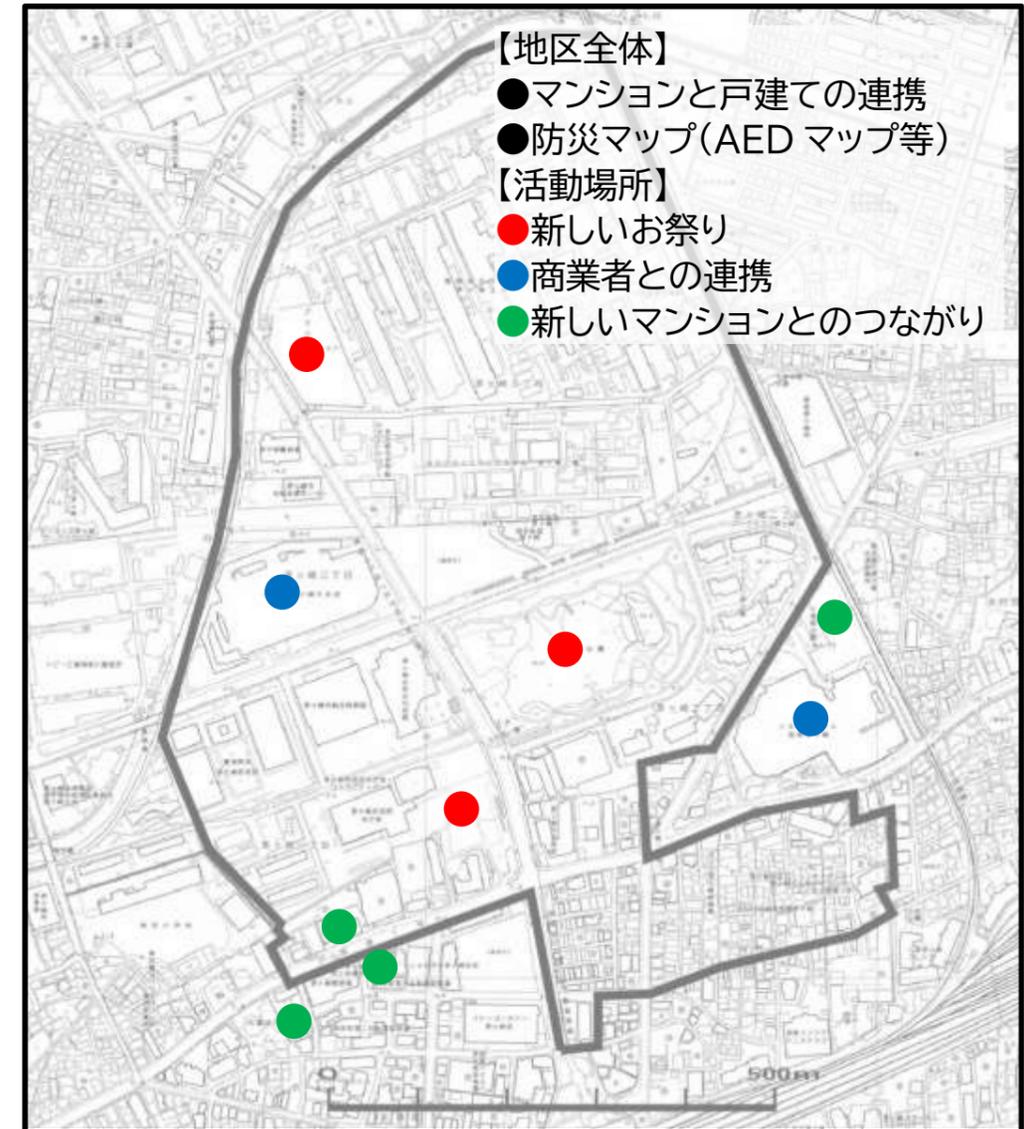
ワクワクつながるまちづくり

◆グループワークのまとめ

魅力・資源 まちの	<ul style="list-style-type: none"> ●活動の拠点となる中央公園がある ●イオン等の多くの商業施設がある ●マンションと戸建て住宅の混在している
まちづくりの課題	<ul style="list-style-type: none"> ●自治会への加入率が減少している ●マンション住人と戸建て住宅の住人との情報共有ができていない
防災活動の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●マンションと戸建て、それぞれに弱点があるが、お互いの長所を共有することにより、弱点を補うことが必要 →マンションは断水すると復旧に時間がかかるため、水の確保が必要 →戸建て住宅は、浸水に対して脆弱で、マンション等に避難が必要

◆アクションプラン

	取り組み内容	時期
自治会	●自治会への加入を促進する	
まち協議会 まちぢから	<ul style="list-style-type: none"> ●自治会のないマンションへアプローチする ●活動のキーパーソンとなる人材を発掘する ●災害時に協力できる内容についてアンケートを実施する (助け合いシート) 	
その他 団体	<ul style="list-style-type: none"> ●災害時に地域の商店の食材等を活用できるよう協力体制を築く ●地域内の商店の利用を促進するためクーポンを発行する 	



●R5実施プログラム

- ワクワクづくり
 - ・楽しい活動を通じて、自治会への加入を促進、人材発掘を推進する
- つながる仕組みづくり
 - ・活動から地域のコミュニティ形成を推進
 - 人が集まるようなデザインをすることも重要

●まちづくりの体制

- まちぢから協議会
 - ・まちぢから協議会の中に、つなげる部会を立ち上げる
- まちづくりのコーディネーター
 - ・地域住民の話を聞いて回り、キーパーソン同士をつなげる

世代を超えて、顔が見えるまち

【アクションプラン～地域で取り組みたいこと～】

◆なにを？

◆どのような？

◆だれが？

◆いつ？(矢印を記入)

◆さらに？

まちづくりの取組み内容

- 盆踊り復活
- パタンク、地区体育祭
- 誰が住んでいるかの確認、お年寄りの集まり
・65才以上把握、75才以上訪問
- 無事ですカード
・窓(ベランダ)からリボン
- お茶のみ会、敬老会
・景品を用意する
- 料理でおもてなし
・ドーナツ！

まちづくり上の効果

- にぎわいづくり、子供が住んでいることの確認
- 地域の顔ぶれが見える
- 顔を知る
- コミュニティづくり

例)自治会/その他団体
まちぢから協議会...

- 3つの自治会+子供会+銀座商店会
- 体育振興会+子供会+まちぢから協議会
→ニューライフもやりたい
- ニューライフ自治会+民生委員
- 新しい組織の編成
例)十間坂自治会+元町自治会
【課題】
マンションは自治会メンバーがコロコロ変わる⇒地域連携
- 若い人を(ニューライフ)集める、個人の活動から
→ニューライフ以外にも、このグループから広げる

短期 R5から	中期 2~3年後	長期 5年後
→		
→	結構長くやってる	
→		

防災上の効果

- 人の顔、状態の確認
→仲良くなる
- 商店街が出店
- 防災を高める

防災の周知

- 高齢者向け防災レクチャー
・何でもやってもらえるわけじゃないことを知ってもらう
- 高齢者向け防災マニュアル策定
- 防災活動ができる若手を集める

集まるきっかけ



防災 **も** まちづくりマップ グループ④

ドーナツの会 

キャッチフレーズ

世代を超えて 顔が見えるまち

◆グループワークのまとめ

魅力・資源
まちの

- 地域内に活動の拠点となる施設が多数立地している
→ 厳島神社、中央公園、市役所広場、ロコスポーツ、コミセンなど

まちづくりの課題

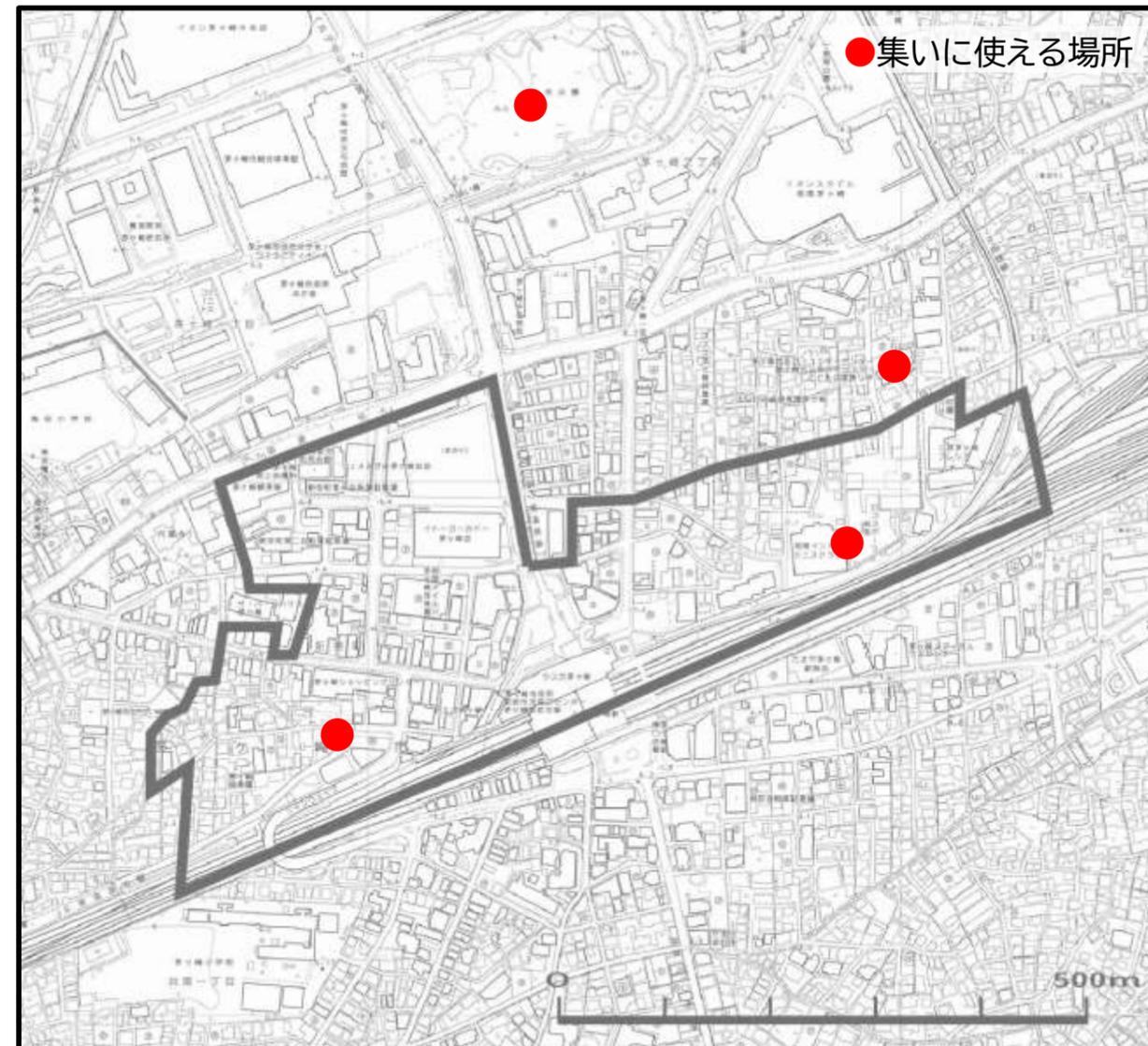
- 住民が集まる機会が少ない（コミュニケーションが少ない）
→ 顔が見えない関係からゴミ問題などにつながることもある

防災活動の課題

- まずは個人の防災意識を高めることが必要
- 住民が高齢化し、自治会等の活動の担い手も高齢化している
- 「誰かがやってくれる」という意識がある

◆アクションプラン

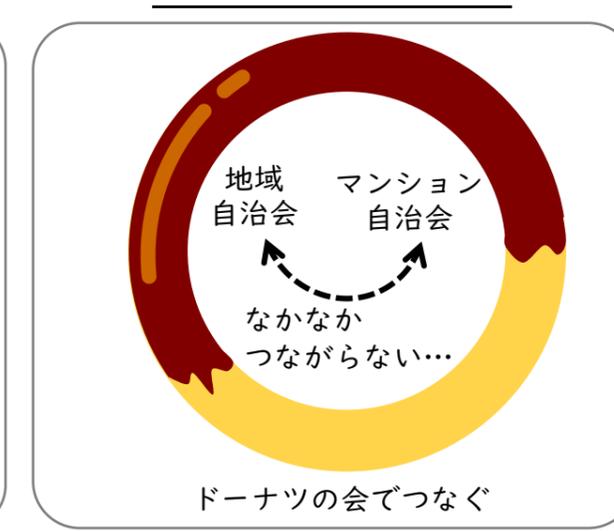
	取り組み内容	時期
自治会	<ul style="list-style-type: none"> ●コロナ禍で中止していたイベントを再開する（盆踊り、お祭り、ペタンク等） ●敬老会などの集まりを再開する 	短
その他 団体	<ul style="list-style-type: none"> ●ドーナツ・お茶会 ・自治会活動等に縛られず、まずは趣味で繋がるような自由な活動を行う 	短



●R5実施プログラム

- ドーナツの会を発足する
- ・食べ物でつながる
- ・胃袋が大事！！

●まちづくりの体制



年齢・性別関係なくやれることをやれる人がやる

キーワード:川と遺跡と共に生きる、安全・安心、年齢・性別関係なく世代を超えてやれる人がやる、ジェンダーレス、自由に活動できる、顔の見える、寛容な、後押し

【アクションプラン～地域で取り組みたいこと～】

◆なにを？

まちづくりの取り組み内容

○住民参加型の取り組みを実施

- ・参加者が偏る可能性がある
- ・担い手を増やすことで、自治会ごとに分けてイベント等を実施できる
- ・遺跡に興味があるなどが取り組みに参加するきっかけにつながる
- ・身近なことから始める
- ・散策中に話すことで、コミュニケーションが増える

○まち歩き

- ・川沿いの道や桜の花見を合わせた散策路の作成

○遺跡のイベント

- ・地域の成り立ちを知ることができる
- ・神社(八王子神社)、寺院等の地域の魅力を活かす
- ・一般参加で実施することで、参加者が地域を知ることができる
- ・避難場所の位置や道順の目印を確認する(自治会の避難場所マップは目印の場所が更新されていない)

○防災用品の確認、他地区との情報共有

○室内イベント

- ・自治会内で情報共有の場をつくる
- ・商業者と協力してイベントを開催する
- ・豚汁を食べる会を開催する
- 役員の高齢化でテントを張ることができなくなったので夏祭りはやらなくなったため

◆どのような？

まちづくり上の効果

○地元を知れる、地元に興味を持つ

○道路の劣化を確認し行政に報告

→車いすやベビーカーの人と歩くことで、更に安全になる

○ブロック塀等の危険な場所を確認できる

○コミュニケーションの場

○近隣地域とコミュニケーションがとれる

○整理方法等良いところを見習える

○災害時に防災用品のシェア

○人が集まる、声が聞ける

○お店との連携

◆だれが？

例)自治会/その他団体
まちぢから協議会...

○実行委員会を立ち上げる

まちぢから協議会が全自治会に声掛け

↓

全自治会で会合を開く

↓

実行委員会を立ち上げ

↓

実行委員会が全住民に声掛け

◆いつ？(矢印を記入)

短期 R5 から
中期 2~3年後
長期 5 年後

まちあるき

イベント

他地区との
防災用品の
確認・情報
共有

◆さらに？

防災上の効果

○避難場所の位置や道順、目印の確認

○危険な場所の確認

○他地区とのコミュニケーション

○防災情報のシェア

○防災用品をシェア

→災害時に近隣地域と助け合いができる

○防災情報のシェア

防災 **も** まちづくりマップ グループ⑤

キャッチフレーズ

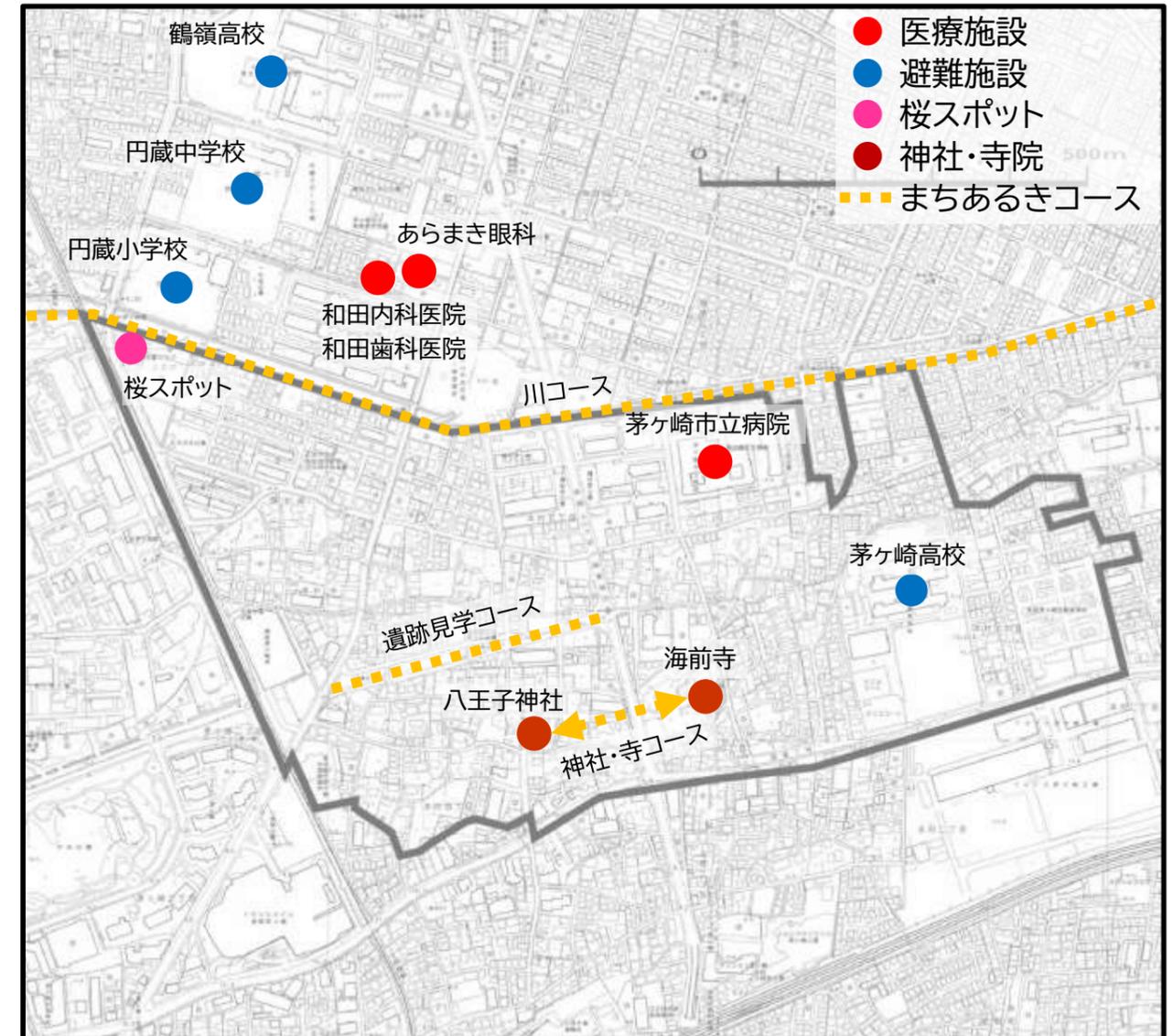
年齢・性別関係なくやれることをやれる人がやる

◆グループワークのまとめ

魅力・資源 まちの	<p>【地域の魅力的な資源】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●川 ●遺跡 ●桜 ●神社・寺 ●学校（小学校・中学校・高校がある） ●病院
まちづくりの課題	<ul style="list-style-type: none"> ●活動の担い手となる人材が不足している ●情報の伝承不足 <p>→短期間で自治会役員が交代するため、情報が引き継がれていない</p>
防災活動の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●活動の担い手となる人材が不足している ●情報の伝承不足 <p>→避難場所や避難物資についての情報が引き継がれていない</p>

◆アクションプラン

	取り組み内容	時期
自治会	●会合を開き、実行委員会をつくる →イベントの実施を全住民に周知する	短期
まちづくり協議会	●全自治会・団体に声掛けを行う	短期
その他	●会合を開き、実行委員会をつくる →イベントの実施を全住民に周知する	短期



●R5実施プログラム

- まち歩きイベント実施
- 実施可能なイベントをやる

↓

- 情報共有
〔避難場所や危険な場所の情報、防災用品の確認やシェア〕

●まちづくりの体制

- まちづくり協議会を中心に新しい体制をつくる

【まちづくりのキャッチフレーズ】

子どもも気軽につながり助け合えるあたたかいまち

キーワード:こども、気軽に、祭り、コミュニケーション、情報共有、顔が見える、助け合う、あたたかい、つながり

【アクションプラン～地域で取り組みたいこと～】

◆なにを？

◆どのような？

◆だれが？

◆いつ？(矢印を記入)

◆さらに？

まちづくりの取組み内容	まちづくり上の効果	例)自治会/その他団体 まちぢから協議会...	短期 R5から	中期 2~3年後	長期 5年後	防災上の効果
○防災訓練・一斉清掃		○自治会 ・近隣自治会、住民に声掛け	→			
○防火訓練の復活+防災要素を加える		○マンション自治会	→			
○男性版老人会	○顔が見える関係づくり	○男性老人会	→			○助け合う関係・体制づくり
○ソフトボール大会			→			
○家族の状況把握		○民生委員	→			
○ポスト・自販機・コンビニの誘致	○防災機能の拡充	○レクセルマンション茅ヶ崎自治会	(ポスト・自販機誘致) →			○地域の拠点性強化
○マンションと関係づくり ・近隣の工場・地域住民との連携、他自治会とのコミュニケーション	○情報交換・共有による連携と相乗効果	○まちぢから協議会	→			○助け合う関係・体制づくり

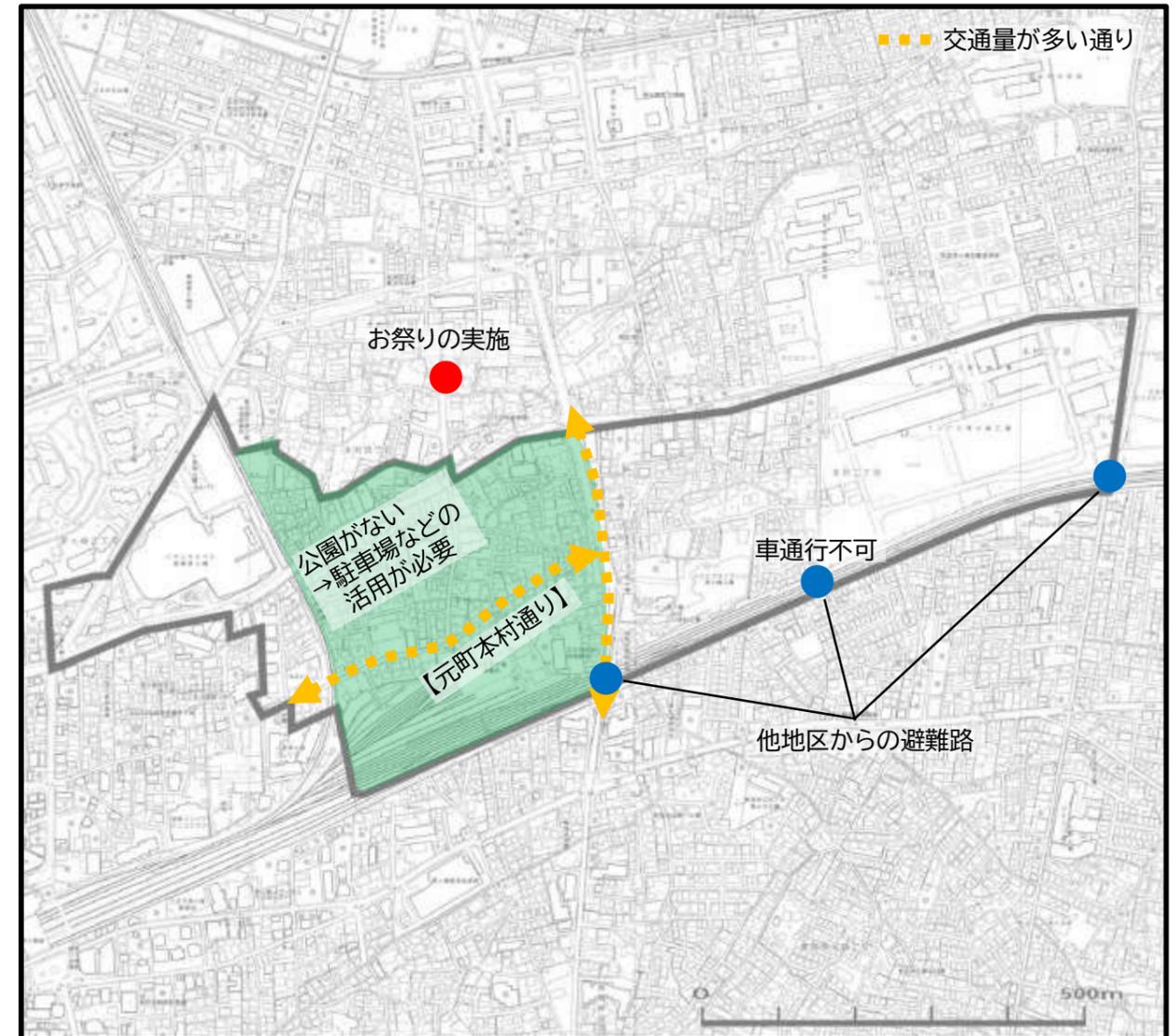
防災 **も** まちづくりマップ グループ⑥

キャッチフレーズ

子どもも気軽につながり助け合える「あたたかいまち」

◆グループワークのまとめ

魅力・資源 まちの	<ul style="list-style-type: none"> ●よいところに住んでいるといわれる！ →温暖な気候、富士山が見えるなど ●大型商業施設、病院が立地していて利便性が高い
まちづくりの課題	<ul style="list-style-type: none"> ●狭い道路が多くある ●元町本村通りの交通量が多く危険である
防災活動の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●他地区からの避難者の受け入れ体制の強化する必要がある



◆アクションプラン

	取り組み内容	時期
自治会	<ul style="list-style-type: none"> ●夏祭り・盆踊り ●防災訓練、一斉清掃 ●老人会 	短期
	<ul style="list-style-type: none"> ●ポスト、自販機、コンビニの誘致 	長期
まち 協 議 会 か ら	<ul style="list-style-type: none"> ●自治会同士の連携・コミュニケーションづくり 	中期

●R5実施プログラム

- 顔が見える関係づくり
- 大人と子どもの
コミュニケーション
↓
- ・夏祭りなどの既存イベントの実施
(コロナ前に実施していた取組の復活)

●まちづくりの体制

